

新型コロナウイルス感染症による図書館の対策について

秋田工業高等専門学校 技術教育支援センター・総務課学術情報係

岡部 克利

1. はじめに

2020年に世界的流行が起きた新型コロナウイルスについて、本校図書館が実施した対策について報告する。

2. 本校の対応状況

3月6日（金）秋田市で新型コロナ感染者1例目が発表される。

3月12日（木）令和元年度第4回図書館運営委員会で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応について図書館運営委員と協議。3月16日（月）～4月3日（金）まで本校図書館を臨時休館することが決議された。（その後、井上図書館長と断続的に協議し、5月7日まで休館延長された）それと並行し、図書館係員が下図のような新型コロナ対策を行った。

プフックにより吊り下げた。ビニールは、入学式等の看板を覆うものを学生課より提供してもらった。



図3 ラーニングコモンズ（談話ホール）
2つ組み合わせさせて設置していた机を離す、イスを減らし、利用者の間隔を離れた。



図1 図書館カウンター ダンボール製仕切りの取付



図4 閲覧室
イスを減らし、利用者の間隔を離れた。



図2 図書館カウンターへビニール製仕切りの取付
天井取付部は、目玉クリップ・結束バンド・両面テー



図5 デジタルサイネージ、ポスター

3. 消毒してもらおう工夫

保健室から提供された消毒液を図書館へ入館する前、“消毒液に気づいてもらう”・“人との空間を開けてもらう”ことを促すため、床にイエローテープを矢印にして貼りつけた。このことを“ナッジ”という。ナッジとは、“そっと後押しする”という意味で、『人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法』ということであり、それを目指した。入館者の様子を見てみると、消毒液の存在に気づき利用してくれており、イエローテープの効果を実感している。



図6 消毒液 図書館入口 対面、ブックディテクション先 →イエローテープで矢印



図7 消毒液 図書館入口 対面、ブックディテクション先 →イエローテープで矢印

4. まとめ（現況）

秋田高専は、5月11日より対面授業 開始した。
同日、本校図書館は全国の高専図書館の中で一番早

く通常開館を開始した。また、5月18日から閉館時間を17時から20時へ延長する時間外開館、6月29日より一般利用者の受入を開始した。

2021年2月25日現在、新型コロナウイルス感染症患者は、秋田県269例、秋田市100例の感染が報告されている。秋田県内では、2月6日以降、感染者は出ていないとのことだが、引き続き感染対策を継続していくことが必要と思われる。

5 参考文献

[1]. 宇治市役所 柴田浩久 行動経済学のナッジが消毒・手洗い行動に変容を及ぼす効果の検証について http://www.env.go.jp/earth/ondanka/nudge/renrakukai16/mat_02.pdf

[2]. 環境省・環境省ナッジPT（プラチナ）・日本版ナッジ・ユニット（BEST）事務局
新型コロナウイルス感染症対策における市民の自発的な行動変容を促す取組（ナッジ等）の募集について（結果）ーナッジ等の具体例、留意点ー http://www.env.go.jp/earth/ondanka/nudge/COVID-19_r.pdf